がん早期発見呼び掛け

市役所でパネル展　検診紹介の映像も

がんの早期発見などを呼び掛けるパネルが並ぶ会場

がんに関する知識や検診による早期発見を呼び掛ける「がんを知る展」（岡山市など主催）が21日、市役所１階市民ホールで２日間の日程で始まった。

日本人のほぼ3人に１人ががんで亡くなっている現状や、がんが発生しやすい部位などをパネル７枚で説明している。検診の様子を収めた映像を見たり、模型を触って乳がんのしこりを確認したりするコーナーも設けている。

北区新屋敷町の黒崎知津子さん(65)は「がん検診は一度行ったきりで安心していたが、これからは定期的に受けたい」と話した。

市民の健康づくり計画「健康市民おかやま21（第２次）」（２０１３～22年度）に、がん検診受診率の目標値が設定されていることにちなみ、同計画の実現に努める団体などを紹介したパネル展も同時に開催。塩分の取りすぎが高血圧の原因となって脳卒中につながることなどを説明したパネル９枚が並んでいる。（岡本遥加）

2014年10月22日 山陽新聞朝刊 24ページ
(C)山陽新聞社　無断複製・転載を禁じます。